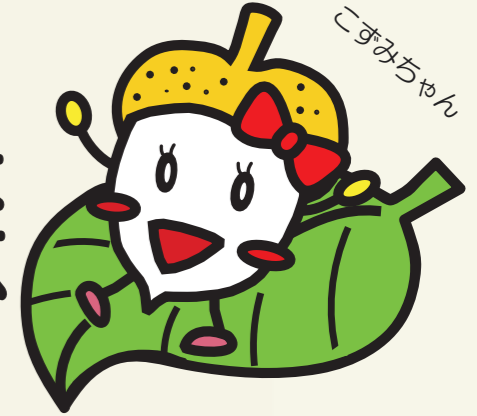


小泉山

こずみやま

体験の森



小泉山体験の森創造委員会・茅野市教育委員会

この読み札の文は？
※答えは裏面



こずみやま おおすみやま
小泉山と大泉山の伝説

ずっとむかしのお話です。
八ヶ岳は、高さ比べに負けた富士山にけとばされ、ごっこになってしまいました。それを見た八ヶ岳の妹の蓼科山は、おにいちゃんがかわいそうで泣き続けました。そしてその涙がたまって諏訪湖になりました。

ちょうどそのころ「でいらぼっち」という、とてつもない大男がどこからかあらわれました。背の高さは雲をつんぬけ、ひと歩きのはばは4キロもあります。「おれが、あの湖をうめてやるわえ。」と大きな手で八ヶ岳をけずりとったふたつの大きな土のかたまりをおんがら（あさの皮をとったから）の天びんぼうでかつぎあげました。

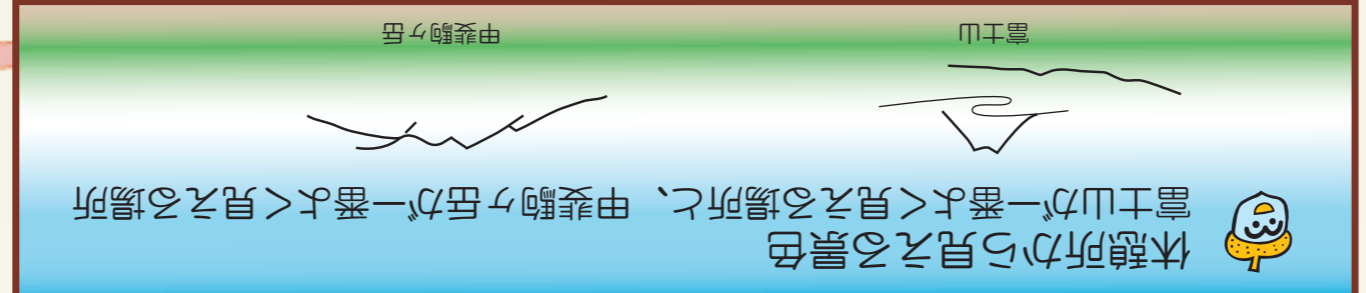
そして、諏訪湖をめざして歩きだした時です。天びんぼうがまん中からポッキリ折れてしまいました。でいらぼっちは、かわりの天びんぼうをやっとさがして、かつぎあげようとしたが、ふたつの土の山はすっかり地面にくっついて小山になりました。でいらぼっちは、あきらめてどこかへいってしまいました。

このふたつの小山が小泉山と大泉山で、諏訪湖に近いほうが小泉山、八ヶ岳によったほうが大泉山です。「諏訪のでんせつ」（竹村良信著）より
かるた：諏訪いろはかるた（信濃文化研究会版）
絵 佐原永泉



親水ゾーンでは川遊びができるんだってね
魚がみつかるとかな

体験の森には子ども達の見つけた野草や木や花に名札をつけてあります。その一部が裏面に紹介されているので、どこかで見かけるかも……



整備の基本的な考え方

- ◎小泉山（こずみやま）を市街地に近い里山とし、いつでも・だれでも楽しめる体験学習の場として整備したい。
- ◎現在の自然を守り、それを後世につなげたい。
- ◎創造委員会のメンバーが中心となり、道案内や昔の山での遊びを伝えていきたい。（異世代間交流）
- ◎茅野市民俗文化財「火とぼし」を伝承していきたい。
- ◎先輩・後輩間での遊びの里山にしていきたい。（異年齢間交流）
- ◎整備後も地元の方、小学生、中学生で林内整備をしていきたい。

小泉山 まなびガイド



ウワミズザクラ (バラ科)
小泉山には色々な種類の桜がありますが、その中でも最後に咲く桜です。ふつうの桜とちがって、ふさ状に白い花が咲きます。花の咲く時期は5月上旬です。



ハナイグチ (イグチ科)
私達の地域では別名ジコボウと呼んでいます。このきのこは9~11月にカラマツが多くてじめじめしている所に生えます。きのこ汁にすると、とても美味しいです。



【二本松】
大阪夏の陣(1614~15年)に出陣した人が持ち帰って植えたと言われている。幹周囲3メートル、樹齢推定400年の赤松です。



【富士浅間神社】
元和六年(1620年)富士山頂の噴火口に見立てて神社を祀る。直径4メートル、深さが2メートルあります。



キイチゴ (バラ科)
花は4月下旬ころに咲き直径約3センチで白くてかわいいです。6月になると直径約1センチの黄色くて丸い小さい実がなります。ちょっと甘くてとても美味しいので食べてみてください。



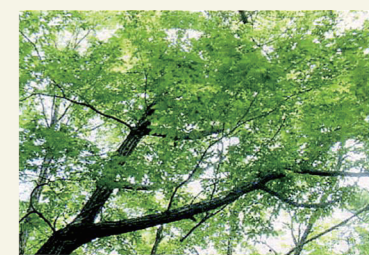
【上古田の親水ゾーン】
上古田登山口の柳川沿いに整備しました。3箇所の沼、大きな岩、柳川をながめる場所などがあります。ホタルやオオムラサキの里になればいいな。



マイツルソウ (ユリ科)
葉っぱは、ハート型に似ています。この葉っぱの脈の曲がり方をツルガ羽を広げた形に見立ててこの名がつけました。白い花が、5月に見られます。きれいな花なのでぜひみてください。



【火とぼし】
古くから子ども達によって传承されています。起源は虫追い、豊作祈願などの説があり、毎年6月に行われています。



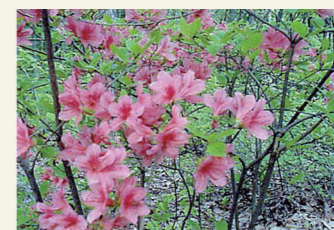
コナラ (ブナ科)
コナラはドングリがなる木です。このドングリを使ってこまや、やしろべえなどを作ることができます。夏にはカブト虫やクワガタ虫がくる木です。花は4~5月にかけて咲きます。



【狐の腰掛け】
輝緑岩の大きな自然石でハケ岳の噴火以前にできた。腰掛けた狐にばかされないように。



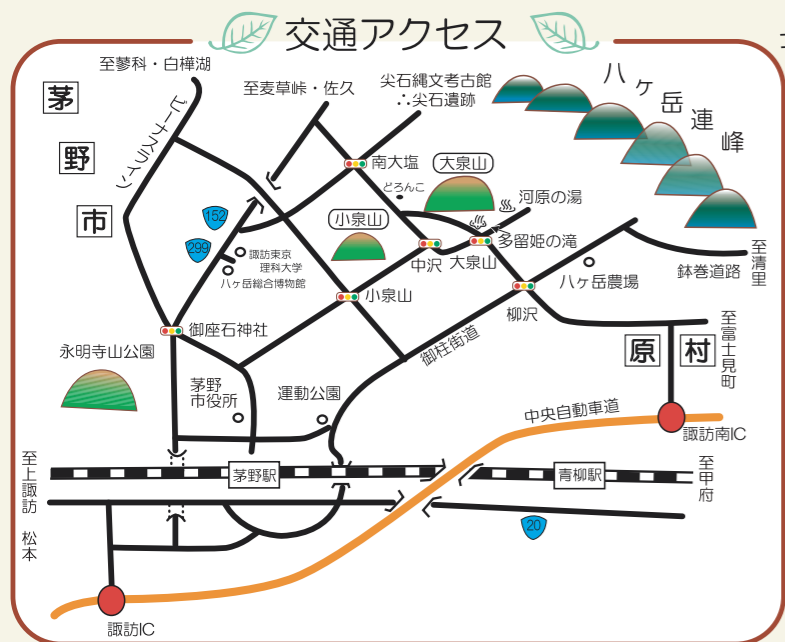
チゴユリ (ユリ科)
チゴユリは丘のような林内に5月上旬に咲きます。この植物の姿が、小さくて可愛らしいことから稚児ユリという名がつけました。白くてとても可愛いのでぜひ探してみてください。



ヤマツツジ (ツツジ科)
5月~6月、小泉山の日当たりの良いところに色あざやかに咲きほこります。花はラップのような形をしています。高さが1~3メートルのだけの低い木です。小泉山にたくさんある木です。

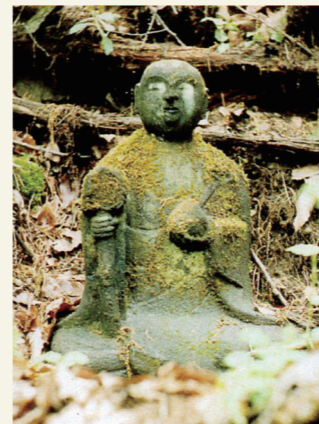


●読み札の答え
をんがらで ちょいとかついだ おおずみ こずみ



願いをこめてプレート付け
平成14年から平成15年にかけて、玉川小、東部中、豊平小がプレートをつけました。プレートの裏には自分たちの小泉山への願いが書いてあるのでぜひみてください。

小泉山の願い
小泉山に誓った人が自然を大切に、もっと親しめて木の事をたくさん知ってほしいから、私たちよりも長生きしてほしい。私たちも自然と共に、学習できる山にするから。何十年、何百年たっても自然のままに地いきなどのいる人々にいつまでも親しんでもらったり、学習できる小泉山でいてほしい。私が大人になっても、争いももっともって緑豊かな小泉山として残ってほしい。



【食行身祿座像】
粟沢参道の七合目に祀られています。食行身祿は江戸時代の人物で、享保18年7月13日、富士山7合5勺にある烏帽子岩で入定(食を断ち、死に至ること)の偉業を果たしました。身祿の入定により江戸八百八町に富士講が生れ、富士登山が盛んになりました。

小泉山体験の森登頂記念
(頂上にたいけんちゃんスタンプと登頂記念ノートがあります)